

## 社協会員募集にご協力お願いします

地域福祉の充実のため“すべての世帯が会員”をめざしています

募集強調期間：7月1日から8月31日（9月以降も受け付けます）

年間会費額：住民会費500円（賛助会員は1口1,000円）

※皆さんの500円が多くの活動に活かされます！！

お願いいたします！！



### 社協会員とは

地域で協力員として活動されている方のほか、寄付や募金を会費として納め、社協活動に協力していただける方々のことをいいます。会員には、「住民会員」「賛助会員」「特別賛助会員」があります。

このシールが  
目印です  
左:住民会員シール  
右:賛助会員シール



### 会費の使いみちは

皆さんから拠出していただいた500円の会費のうち、300円は地域で組織されている**地区福祉委員会の事業**に、200円は社協だよりなど**福祉活動のPR**のために使われています。

#### ◆高齢者向け事業

- ①見守り、声かけ訪問（ひとり暮らし高齢者等の見守り）
- ②ふれあい食事会
- ③いきいきサロン
- ④リハビリサロン（介護予防を目的としたますます元気体操）
- ⑤敬老のつどい

#### ◆親子向け事業

- ①子育てサロン（遊びを通じての親子のふれあいや子育て中の親同士の仲間づくりの場）

#### ◆地域住民向け事業

- ①世代間交流（夏まつり、コミュニティまつりなど）
- ②広報紙の発行
- ③地域の交流の場づくり（ふれあい喫茶）



地域の夏まつり  
(玉川・牧田地区福祉委員会)



子どもと親が参加するコンサート  
(十中フロック青少年健全育成連絡協議会)

### 平成24年度 社協会員募集地区別集計

住民・一般賛助会員会費

福祉委員会名	地区会費額	住民会員	賛助会員	福祉委員会名	地区会費額	住民会員	賛助会員
1 樫田	149,000	48	125	21 桜台	179,451	358	0
2 清水	1,020,300	1,970	28	22 堤	101,500	175	4
3 北清水	1,589,400	3,115	26	23 五領	760,823	1,490	15
4 芥川	432,200	861	1	24 北阿武野	878,384	1,490	23
5 天神山	498,500	957	20	25 西阿武野	319,400	618	10
6 真上	696,000	1,382	4	26 中阿武野	640,800	1,203	11
7 川西	800,550	1,436	56	27 赤大路	232,800	448	3
8 磐手	998,996	1,926	10	28 阿武山	178,260	321	13
9 日吉台	1,135,801	2,230	6	29 富栄田	379,500	727	16
10 高槻	663,900	1,225	28	30 寿栄川添	1,103,600	1,856	168
11 桃園	617,000	1,199	0	31 柳川	504,000	938	33
12 西大冠	418,530	795	2	32 玉川・牧田	749,600	1,475	0
13 若松	292,400	545	13	33 津之江	351,000	659	7
14 庄所	197,100	388	3	34 五百住	360,100	719	0
15 北大冠	696,624	1,265	7	35 如是	444,000	744	63
16 松原	352,850	598	39	36 芝生	326,900	628	1
17 大冠	467,600	895	11	37 三箇牧	639,000	1,221	13
18 冠	410,735	615	103				
19 南大冠	383,050	696	22	計	20,474,154	38,082	921
20 竹の内	504,500	866	37				

### 会費

(年額・1口)

住民会員	500円
一般賛助会員	1,000円
特別賛助会員	3,000円
(事業所など)	5,000円
	10,000円
	20,000円
	50,000円

※何口でもお受けいたします  
強調期間：7月1日～8月31日  
※9月以降も受け付けます

### 点 心

眠れないひと時、素晴らしい満月の夜空を見上げ、〇(まる)について考えなくなった。〇は満ち足りた状態として、平和と心の安らぎを感じる▼子どもの頃、先生から〇を貰うと嬉しく優越感と満足感にひたっていた。また遠くから人の腕で〇をつくり、了解の目印としての伝達に使われ、時には多くの人たちが両手を広げて人の輪をつくれば不思議と一体感ができあがる▼同志的なものを持つことで左右の人となんとなく縁を感じ、絆を強くすることができると〇は「えん」ともいふ。縁には血縁、地縁、職場での縁などがあり、人との出逢いとしての「一期一会」の縁を大切に育みたいと思う。特に地域社会では、人間関係が希薄になりがちな今こそ出逢いの縁を深めたいと願っている。「縁は異なるもの味なもの」は日常的によく使われている▼〇「えん」は艶にも通じ、人生常々いつまでも艶の心を保ち楽しみたいと願う。ちなみに「えん」と読む漢字は60余りもあり、私が〇「えん」にこだわるのは、猿(えん)申(ざる)年であるからかも知れないが・・・(鈴木)